

防災だより

赤色灯

第53号

赤色灯の淵源

『自分たちの街は自分たちの手で守る』という住民自治の基本理念を掲げ、平成元年の発刊以来地域住民一人ひとりの防災意識の向上を目的に広報紙赤色灯を発行してまいりました。今後とも市民の皆さんが安全に暮らし安心して子育てができる街づくりの実現に向け活動してまいります。

発行 釧路市中央地域自主防災組織等協議会

「赤色灯」は防火・防災パークゴルフ大会、防火ダンスの益金等で発行しています。

問合せ先 〈事務局〉 釧路市南浜町4番8号

釧路市中央消防署 予防広報査察担当 TEL.23-0430

危機感を行動に

日本海溝や千島海溝でM9クラスの巨大地震が発生した場合、太平洋側東部で**最大20メートル**を超える巨大津波が押し寄せると想定されています。

道の推計で、最も被害が大きいのは

「**冬の夕方**」の発生で、早期の避難ができなかった場合です。

釧路市では人口の半数を超える**8万4千人**が死亡すると想定されています。

冬は津波から逃れたとしても屋外で長時間寒さにさらされることで、**低体温症**になり、死亡するおそれがあります。

道は「**早い避難**」をすることで死者を5割から9割減らすことが出来るとしています。